



# 学校だより

川越市立山田中学校

令和3年1月6日 発行

## しなやかに 根を張って

校長 大澤由美子

明けましておめでとうございます。新しい年になりました。新型コロナウイルスの感染が拡大する中ではありますが、新たな気持ちで3学期を迎え、本年度を締めくくりたいと思います。始業式で次のような話をしました。

昨年の今頃は、新型コロナウイルスで学校がこれほど大きく様変わりするとは思っていませんでした。本当に何が起こるかわからないと、つくづく思います。

今、大切なのは、「しなやかな強さ」を持つことです。「柳」という木の強さを知っていますか。固くてガッチリとした木と違って、柳の枝は柔らかく、風になびいたり、しなったりします。一見、弱そうなのですが、なかなか折れません。固い物は強そうに感じますが、強い力が加わると折れてしまうことがあります。一方、柳は柔らかいため、ポキッと折ろうと思っても簡単には折れません。どのようになっていくか、先が読めない時、そして、自分の力ではどうにもできない状況の時は、柳のような「しなやかな強さ」が力を発揮するのではないかと思います。折れずに、しなるような強さを持って、前に進みましょう。「ピンと張る強さ」も、とても美しく、素敵です。しかし、今のような時には「しなやかな強さ」で、慌てず、焦らず、前に進むのがよいのだらうと思います。

「しなやかな強さ」を持つために、まず、皆さんは、自分の「できているところ」や「優れているところ」に目を向けてください。自分の状況をポジティブ（前向き）に捉え、たとえ少しずつでも、自分が成長していることを感じてください。明日への元気や勇気が湧いてきます。

次に、そのポジティブな感情で周りの人たちと接してください。傲慢になることとは違います。派手に振る舞うこととも異なります。明るく、健康的な心持ちで、人と向き合うということです。それは、周りの人たちと良い関係を築くことにつながります。そして、そのことが、辛いときに助けてくれる人を持つことにつながり、大きな心の支えとなるでしょう。

柳は、根が良く張ります。これも、柳の強さの一つです。強風に対して、地上の部分はしなやかに風の力を逃がし、地下の根は上の部分をしっかり支えています。皆さんにも、根をしっかりと張ってほしいと思います。人が「根を張る」とは、日常の、一見小さなことと思われるようなことを大事にするということです。それができている人は、とても強いものです。日々の出来事からどんどん学び、吸収し、自分のものにしていくことができます。いざという時に力を発揮できるのは、こういう土台がしっかりしている人です。

良い卒業式、良い修了式を迎えられるように、「柳のように、しなやかに、そして、ぐんぐん根を張って」、一日一日を積み重ねていきましょう。

ウイルス感染拡大防止に配慮しながら、今できることを大切にして、教育活動を進めて参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。